

福整広報

福整広報 第51号



公益社団法人 福岡県柔道整復師会 機関誌



2025.3
No.51

公益社団法人 福岡県柔道整復師会

目次	
巻頭言	会長 塩川 哲也…………… 2～3
年頭挨拶	副会長・保険部長 村田 栄治…………… 4
	副会長・総務部長 重松 哲夫…………… 4
	顧問 松岡 保…………… 5
	相談役 小川平八郎…………… 6
	顧問弁護士 堀内 恭彦…………… 6
	顧問公認会計士 吉村 祐二…………… 6
令和6年度 定時総会	議長 相良 昌策…………… 8
理事会報告・会務執行状況報告	副会長・総務部長 重松 哲夫…………… 9
保険部だより	副会長・保険部長 村田 栄治…………… 15～18
表彰者紹介	…………… 19
旭日雙光章受章	顧問 松岡 保…………… 20
	副会長・総務部長 重松 哲夫…………… 21
日整・九プロ	第33回 日本柔道整復接骨医学会学術大会 学術部長 吉村 喜彦…………… 24
	第33回 日整全国少年柔道大会・第14回 日整全国少年柔道形競技会 副会長・総務部長 重松 哲夫…………… 25
	第51回 九州学術大会福岡大会 学術部長 吉村 喜彦…………… 26
	令和6年度 匠の技伝承プロジェクト 学術部長 吉村 喜彦…………… 27
県行事	第42回 福岡県少年柔道大会 大会委員長 西宮 裕二…………… 28
	第33回 福岡県整骨医学会・生涯学習研修会 学術部長 吉村 喜彦…………… 29
	令和6年度 各地区保険研修会 保険担当理事 柴田 修一…………… 31
	令和6年度 超音波観察装置研修会 超音波観察装置委員会 委員長 大原 康宏…………… 32
	令和6年度 新入会員保険研修会 保険担当理事 柴田 修一…………… 33
支部活動報告 (広報通信員)	福岡東支部 仲尾 一平／福岡西支部 石井 広太／福岡南支部 上村 大地…………… 34～39
	筑豊支部 木室 剛／北九州西支部 安島 洋一／北九州南支部 舩尾 勝也
	北九州中央支部 松原 節子／久留米支部 末次 和裕／大牟田・有明支部 櫻井 吏
新入会員紹介	…………… 40～41
事務局より	事務局 局長 後藤 祐司…………… 42
投稿についてのお願い／表紙の写真に添えて／編集後記	広報部長 浦 誠二…………… 43

巻 頭 言



革故鼎新

(公社)福岡県柔道整復師会
会 長 塩 川 哲 也

令和7年(2025)の新春を迎え、会員の皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も会の事業推進にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、一昨年(2023)の総会で、松岡前会長の後を引き継ぎ、第14代目となる会長職を拝命しスタートを切りましたが、早いもので2年の任期を終えようとしています。役員、会員の先生方、職員の皆様のご協力により、大過なくスムーズな運営をおこなうことができました。誌面をお借りして心より感謝申し上げる次第です。

昨年を振り返ってみますと、やはり一番のトピックは、令和6年春の叙勲に於いて顧問の松岡保先生が栄えある旭日雙光章を受章されたことです。9月に本会が主催しました祝賀会には自由民主党最高顧問である麻生太郎先生、服部誠太郎県知事を始めとする多くのご来賓にご出席頂きました。当日は、先生方と事務局のご協力により、無事成功裡に終えることができました。発起人を代表して心よりお礼申し上げます。次第です。

その他大きな事業としては、毎年恒例の柔整旗争奪福岡県少年柔道大会、各地区保険研修会、行政保険者等による保険研修会、福岡県整骨医学会、その他救護ボランティア活動等と実施してまいりました。

また、昨年は2年に一度の料金改定が行われました。日整は予てより療養費の確実な増額改定、明細書発行体制加算の毎回算定、医療機関並みの物価高騰支援金の支給などの交渉を続けてきましたが、結果は医科の半分となる0.26% (総額7億～10億)に決定となりました。今回の料金改定により電療料が3円引き上げられましたが、電療料は後療時に毎回加算出来ますので、永い目で見たら良い方向にいくのではないのでしょうか。また、10月には労災料金も改定となりました。併せて自賠償の上限目安も変更となりました。今回の改定内容は明細書発行や、長期頻回通減の強化など付帯事項が複雑であるため、会員から多くの問い合わせや、ご相談が事務局に寄せられてきています。しっかりとルールを理解したうえで、対応出来るようにしないとイケません。

また、厚労省より永年検討が行われていたあはき・柔整広告検討委員会におけるガイドラインが発表され、2月に正式に発出されました。今回のガイドラインは現在の法律を元に策定しているものであって、法律が厳しくなるとか、今ま

巻 頭 言

で出来なかったことが出来るようになるというものではありません。現在のルールを整理した指針になりますが、何れにしましても、目に余る違反広告については、本会としましても今後ガイドラインを軸にした注意喚起を啓発していきたいと思っております。

次に、今年4月からスタートする公益法人制度改革ですが、今回の主な改正点としまして、財務規律の柔軟化、行政手続きの簡素化と合理化、自立的ガバナンスの充実と透明性向上が柱となっています。特に、外部理事、監事の設置が義務化となりますので、本会が抱える問題点や課題に取り組んで頂ける外部有識者を選定する必要があります。

我々の業界も大きな変革期を迎えております。本会の運営方法や公益事業の本質は守り、外部環境の変化や会員のニーズに合わせて変革していく必要があると思います。事務局の強化もそうですが、業務の効率化を進めるDX化については、会員を置いてけぼりにしないよう、丁寧な説明とフォローを欠かさないよう配慮しながら進めていきたいと考えています。

そして、本会も会員の減少や会費収入の落ち込みなど大変厳しい現状ではありますが、ただの現状維持だと衰退と変わりませんので、改善・進化しながら継続して成長に繋げていかなければなりません。そこで、本会の運営方法について

も新年度から大きな機構改革として、従来の9支部制から県一本化にすることを理事会に提案しまして、協議に協議を重ねた結果、承認決定いたしました。そして、役員の定数、報酬についても見直すことを検討しています。今後は、この改革を理事会で十分に協議し、実行していくつもりですので、どうぞ先生方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年も3月の福岡県知事選挙と7月の第27回参議院議員選挙と大型選挙が実施されます。

福岡県知事選挙は本誌が発刊される頃には決着していますが、夏の参議院選挙においては、全県区選出は松山政司候補、比例区は日本医師会副会長の釜沼(かまやち)敏候補を当連盟では強力に推薦いたしております。また、現在の石破内閣の状況にもよりますが、衆参同時選挙になる可能性もございます。柔道整復師は医療費と異なり療養費であること、そして、法律的に立場が弱い業界でございます。今一度政治連盟活動の趣旨をご理解の上、絶大なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年も昨年に引き続き本会の発展に、執行部一同気を引き締めて会務運営にあたる所存でございます。何卒先生方のご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、巻頭言のご挨拶といたします。

年 頭 挨 拶



年頭挨拶

(公社)福岡県柔道整復師会
副会長・保険部長
村 田 栄 治

新年明けましておめでとうございます。公益社団法人福岡県柔道整復師会会員の皆様に於かれましては、新たな年を迎えられお慶び申し上げます。また、日頃より柔道整復療養費の適正な取扱いにご協力頂き、保険部として心より感謝申し上げます。

昨年は、我々柔道整復師も変化の年となりました。柔道整復師料金改定に伴い、窓口での明細書発行作業やオンライン資格確認作業など慣れない事務作業が増加したため、対応に苦慮されている会員も少なくないと察します。しかしながら、様々な業界における変化と比べると決して大きな変化ではありませんので、常に情報収集に努め、目を背けずアップデートを行い、順応していくしかないと考えます。

特に明細書交付は社会や保険者から信用を得るためにも必須であり、交付をする、しないは我々が選択する事では無く義務となります。先生方におかれましては、明細書交付を確実に実行して頂きますよう、ご理解をお願いいたします。

また、療養費に必要な健康保険証もマイナンバーカードによる資格確認に変わりつつありますが、従来の保険証と同様に、月初めにはオンラインでの保険資格確認を確実に行って頂きますようお願いいたします。

保険部は常にアンテナを張り、先生方に最新情報の提供に努めてまいります。先生方におかれましては、毎月の保険部発文書の確認や厚生労働

省ホームページの閲覧、保険研修会等での情報収集に努めて頂きますよう宜しくお願いいたします。

最後に、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭挨拶

(公社)福岡県柔道整復師会
副会長・総務部長
重 松 哲 夫

令和7年の新春を迎え会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

総務部としましては定時総会、理事会、総務経理部会と事業計画通り開催し、本会の運営を進めることができました。また、慶事では松岡顧問が春の叙勲に於いて旭日双光章を受章されましたので、9月に受章祝賀会を開催し、無事盛会裡に終了することができました。そして、今年度は日整社団設立70周年ということで12月に記念式典が開催され、厚生労働大臣表彰を始め、日整会長表彰、永年会員表彰など多くの会員の先生方が表彰の榮に浴されました。受賞された先生方は誠におめでとうございます。

今年は公益社団法人福岡県柔道整復師会にとって変革の年になるのではと思います。ここ数年会員数600人以上を維持して来ましたが、ここにきて会員が病気で急逝されたり、高齢会員が相次いで退会されるなどして、会員数が急激に減少しております。また、新入会員も以前ほど入会していないのが現状です。

これから先開業者が増えるのは厳しいと思います。療養費も殆ど上がりず月毎の請求も昨年度と

年 頭 挨 拶

整復師施術管理者の実務研修制度3年、専門学校
の急増から定員割れを経て相次ぐ廃校、学生の奨
学金限度額借入による給与の高さだけで決める就
職、独立開業希望者の大幅な減少、生徒の質の低下
等々に至るまでマイナス要素ばかりであります。
この様な状況下で会員が右肩上がりに増える要素
はありません。

そこで、塩川会長によって時代に即した機構改
革が必要ということで、まずは支部を廃止するとい
う提案をされました。大変素晴らしい英断だと思
います。時代の変遷でインターネットは普及、通信
環境の変化、デジタル化で更に踏み込んだ改革が
出来るのではと期待しています。

「月日に関守なし」時間はあっという間に経過し
ていくことの例えですが、一瞬一瞬を大切にす
る気持ちを肝に銘じて謙虚且つ丁寧に進めて貰いた
いと思います。

最後に当会をピラミッドに例えますと、一番下
に役員がいて、次に事務局、そして会員が一番に上
となります。役員はその意義と責任を強く持って
執行をお願いいたします。



比較すると収入減となっていますので、改めて行
事の見直しを行い、会員の皆様にとって納得でき意
義のある公益社団にして行かなければならないと思
います。

昨年実施されました衆議院選挙に於いては会員
の皆様にご協力を頂きありがとうございました。結
果は過半数割れと残念でしたがこれからも日整は
ぶれずに自民党を応援して行きます。現在、私た
ちの生活はより一層厳しくなっている状況ですが、
執行部は関係団体や行政に補助金の要望や、保
険者に対しても療養費の支給を速やかに行うよう
要望を訴え、理解して頂いております。

本年もご協力の程宜しくお願い致します。



年頭挨拶

(公社)福岡県柔道整復師会
顧問
松 岡 保

新年あけましておめでとうございます。「年越し
蕎麦」の由来の一つに蕎麦はブツブツ切れること
から今年あった災害や嫌な出来事を断ち切って新
しい年を迎えることにあるそうです。皆様年越し
蕎麦を食べて各々に清々しい新年を迎えられたこ
とと存じます。

昨年9月1日は春の叙勲で受章しました旭日雙
光章の受章記念祝賀会を開催して頂き、盛会裡に
終わることができました。心より感謝とお礼を申
上げるとともに、私のけじめと引き継ぎがきち
んと出来たと思っています。

さて、コロナ禍が明けて完全に世の中が変わり
ました。我々の業界振り返りますと、社会保険庁解
体、会計検査院の調査、行き過ぎた患者調査(照
会)、臨床整形外科医による柔整バッシング、柔道



年 頭 挨 拶



年頭挨拶

(公社)福岡県柔道整復師会
相談役

小 川 平八郎

明けましておめでとうございます。

今年は元日から天気が良くて初日の出も綺麗に拝めました。

昨年は能登半島大地震に始まり豪雨災害も追い討ちを掛けて散々な北陸地方でしたが、福岡県に於きましても夏の猛暑で太宰府では40日連続で猛暑日を観測し、国内歴代最長を記録しました。

私ごとではありますが、この夏ソフトボールの審判をしていて初めて熱中症を経験し、年齢には勝てないと痛感しています。

コロナ以降施術所に於いては患者さんが減少したままですが、気持ちを切らすことなくしっかりと患者さんと向き合って行こうと思っています。

今年の干支は蛇、「巳年は財運を呼ぶ年」とされていますので、皆様に於かれましても豊かさと幸運が訪れることを心よりお祈り申し上げます。



年頭挨拶

堀内恭彦 法律事務所
顧問弁護士

堀 内 恭 彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人福岡県柔道整復師会の皆様には、平素から大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

日本経済は、物価高や人手不足などの影響で不透明さを増しています。今後は、デフレ脱却や賃上げの定着、社会保障制度の改革などが期待されて

いますが、海外経済の不確実性が高まる中、より一層、企業や団体のリーダーシップが求められることとなります。

また、法令遵守・コンプライアンスに対する意識の高まりを直視し、厳しく自らを律していかなければなりません。

激変する世界の価値観、経済活動を的確に捉え、変化に対応してまいりましょう。

当事務所としまして、引き続き会員の皆様をサポートし、その発展に尽力していく所存です。

本年も皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。



年頭挨拶

EY新日本有限責任監査法人
顧問公認会計士

吉 村 祐 二

公益社団法人福岡県柔道整復師会会員の皆様におかれましては、本年もますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年話題といたしましては、まず元旦を襲った能登半島地震が挙げられます。元旦の夕方、家族や親戚で集まっていた家庭も多くあった中での最大震度7という巨大地震は、多くの被害をもたらしました。建物の倒壊や道路の寸断などでライフラインの復旧もなかなか進まず、被災された方々の避難生活は長期間に及ぶものとなりました。積雪量が多い地域での冬の地震ということで、ライフラインが復旧しない中の避難生活は大変な苦労があったことかと存じます。犠牲になり亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、改めて災害対策の重要性を認識することとなりました。

年 頭 挨 拶

リーグ制覇も達成し、最高の結果で歴史あるシーズンが幕を閉じることとなりました。

会員の皆様におかれましては、柔道整復師としての誇りを持ち、公益社団法人の一員として、国民医療・保健・福祉の増進に継続して寄与されていることと思います。

末筆ではございますが、これまで会員の皆様が日々職責を果たす中で培われたご活躍分野における信頼をさらに構築され、そして発展していく年となるよう、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

政治では、10月に衆議院議員総選挙が行われました。裏金問題の報道で厳しい目が向けられていた自民党が前回から56議席減らした一方、立憲民主党が50議席増やすという躍進も見られ、15年ぶりに与党が過半数割れる結果となりました。石破内閣には政治とカネの問題に対する国民からの信頼回復と、続く物価高騰や少子高齢化対策などの課題に向き合い、前向きで活気のある日本経済・日本社会を目指していただきたいところです。

また、昨年はパリオリンピックが開催された年でもありました。日本は海外開催のオリンピックでは過去最多である45個のメダルを獲得し、国を背負って奮闘する日本選手の活躍に心揺さぶられる日々が続きました。『広く開かれた大会』というスローガンのもと開催されたパリオリンピックは、既存の施設を極力活用し、歴史あるコンコルド広場やベルサイユ宮殿で競技が行われたことでも注目を浴びました。また、日本選手が多くメダルを獲得できたのが、「アーバンスポーツ」とよばれるスケートボードやブレイキン、スポーツクライミングといった競技でした。自分の表現したいこと、楽しむことに重きを置いて、結果としてメダルがついてくるという新しい競技の在り方、歴史ある構造物を生かして文化とスポーツの融合がみられた今大会は、これまでとは違った楽しみ方ができるオリンピックであったと感じております。

他、スポーツでは、野球の大谷選手の話が多く上がった一年であったと感じております。大谷選手は、2年連続、さらに大リーグ史上4人目となるナショナルリーグとアメリカンリーグの両リーグでのホームラン王獲得、さらに大リーグ史上初のホームラン50本、50盗塁の「50－50」の達成など、驚異的な成績をたたき出しました。連日の活躍に日本中が注目した中、チームの勝利を優先するという大谷選手にとって念願であったワールドシ

令和6年度 定時総会

令和6年5月26日(日) 於 福岡県整骨会館



議 長
相 良 昌 策

令和6年5月26日(日)、福岡県整骨会館に於いて令和6年度定時総会が開催されました。

去年に引き続き議長に選出され、快く引き受けさせて頂きました。

今年は去年と同じで、出席者39名、委任状提出者526名という状況で、皆様のご協力により無事総会を終えることが出来ました。



総会風景

これも出席された会員の皆様や事務局の皆様のご協力のお陰だと思っております。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

また、今年は10月から明細書の発行が義務化され、12月からマイナンバーカード健康保険証利用が開始され、現場は慣れるまで少々混乱している状況だとは思いますが、社会情勢の変化にもしっかりと対応していかなければなりません。皆様の更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが本会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。



塩川会長挨拶



相良議長・梅村副議長

令和六年度 定時総会式次第

- 一、開会の辞
- 一、会長挨拶
- 一、議事

- 議長、副議長選出について
- 議事録署名人選出について
- 報告事項
 - 一、令和五年度事業報告について

- 決議事項
 - 一、令和五年度収支決算報告について
 - 二、令和五年度監査報告について
 - 三、会費規程一部改定について

- 一、新入会員紹介
- 一、その他
- 一、閉会の辞

理事会報告

令和6年3月～令和7年2月



副会長・総務部長
重 松 哲 夫

令和5年度第7回理事会 令和6年2月19日(月) 17:00～

議題

1. 新入会員入会について
2. 令和6年度定時総会について
3. 第42回福岡県少年柔道大会について
4. 「柔道整復」記念碑建立募金について
5. 暴力団追放、排除宣言ステッカー制作について
6. 福整会ゴルフコンペについて
7. 整骨会館使用願いについて
8. 厚生労働大臣表彰記念品について
9. 会館照明LEDの入替について
10. 2階大会議室モニター入替について
11. 事務局ホストコンピューターセキュリティシステム導入について
12. 佐川急便契約運賃の値上げについて
13. 柔道整復施術療養費審査委員の推薦について
14. 令和5年度保険研修会について
15. 令和5年度新入会員保険研修会について
16. 令和5年度第32回生涯学習研修会・福岡県整骨医学会について
17. 令和5年11月、12月度収支決算報告について
18. 定率会費について
19. 令和6年度各部事業計画及び予算案について
20. その他(報告事項)
 - 1. 職務執行状況報告について
 - 2. 各部会報告について
 - 3. 各審査会報告について
 - 4. 日整理事会報告について
 - 5. 日整Re:bone会議報告について

6. 九州ブロック会長保険部長会議報告について
7. 業界特別講義報告について
8. 専門学校教育課程編成委員会報告について
9. その他

令和5年度第8回理事会 令和6年3月26日(火) 18:30～

議題

1. 新入会員入会について
2. 令和6年度事務局職員の昇給について
3. 第51回日整九州学術大会佐賀大会について
4. 公益社団法人福岡県柔道整復師会旅費規程一部改定について
5. 「NHK ラジオ深夜便」の購読案内について
6. 令和6年度超音波観察装置研修会スケジュールについて
7. 令和6年度日整匠の技指導者候補の推薦について
8. 令和6年度日整救護及びトレーナー活動申請について
9. 令和6年度柔道大会等救護派遣スケジュールについて
10. 令和6年能登半島地震義援金対応について
11. 令和6年1、2月度収支決算報告・承認について
12. 令和6年度会費免除申請者について
13. 令和6年度年会費並びに定率会費の徴収について
14. 令和6年度事業計画案について
15. 令和6年度役員報酬について
16. 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
17. 令和6年度各部事業計画及び予算案について
18. 令和6年度予算案について
19. その他(報告事項)
 - 1. 職務執行状況報告について
 - 2. 各部会報告について
 - 3. 各審査会報告について
 - 4. 日整理事会報告について
 - 5. 日整全国会長会報告について
 - 6. 令和5年度保険研修会報告について
 - 7. 令和5年度新入会員保険研修会報告について
 - 8. 日本柔道整復接骨医学会主催研修会報告について
 - 9. 第32回福岡県整骨医学会・生涯学習研修会報告について
 - 10. その他



理事会報告

令和6年度第1回理事会
令和6年4月26日(金) 18:00 ～

議題

- 1. 新入会員入会について
 - 2. 日整70周年記念式典及び令和6年度表彰者の推薦について
 - 3. 暴力団排除宣言整骨院・接骨院の登録について
 - 4. 第51回日整九州学術大会佐賀大会について
 - 5. 第43回日整北信越学術大会長野大会について
 - 6. 第42回福岡県少年柔道大会について
 - 7. 令和6年3月度収支決算報告承認について
 - 8. 令和5年度事業報告について
 - 9. 令和5年度収支決算報告について
 - 10. 令和5年度下期監査報告について
 - 11. 令和6年度定時総会に付議する事項について
 - 12. その他
- (報告事項)
- 1. 職務執行状況報告について
 - 2. 各部会報告について
 - 3. 各審査会報告について
 - 4. 日整理事会報告について
 - 5. 九州ブロック会理事会報告について
 - 6. (公社)愛知県柔道整復師会との研修会報告について
 - 7. 日整全国学術部長会議報告について
 - 8. 九州ブロック会応募論文審査結果報告について
 - 9. 2024年全日本選抜柔道体重別選手権大会救護活動報告について
 - 10. その他

令和6年度第2回理事会
令和6年6月18日(火) 17:00 ～

議題

- 1. 新入会員入会について
- 2. 令和6年度職員上期賞与について
- 3. 職員永年勤続表彰について
- 4. 松岡保先生旭日双光章受章記念祝賀会について
- 5. 事務局夏期休暇について
- 6. 災害発生時における緊急連絡方法について
- 7. 日整学術大会出張について
- 8. 日本柔道整復接骨医学会学術大会への派遣について
- 9. 令和6年度保険研修会について
- 10. 柔整旗争奪第42回福岡県少年柔道大会について
- 11. その他

(報告事項)

- 1. 職務執行状況報告について
- 2. 各部会報告について
- 3. 各審査会報告について
- 4. 日整理事会報告について
- 5. 令和6年度料金改定について
- 6. 広告に関する検討会報告について
- 7. 日本柔道整復師会九州ブロック会理事会報告について
- 8. 専門学校教育課程編成委員会報告について
- 9. その他

令和6年度第3回理事会
令和6年8月19日(月) 17:00 ～

議題

- 1. 新入会員入会について
- 2. 松岡保先生旭日双光章受章記念祝賀会について
- 3. (公社)福岡県柔道整復師会慶弔見舞規程の一部改定について
- 4. 会館使用許可願いについて
- 5. 日整社団設立70周年記念式典祝賀会について
- 6. 他県記念式典祝賀会への出張について
- 7. 日整学術大会への出張について
- 8. 日本柔道整復接骨医学会学術大会への出張について
- 9. 支部役員会、定例会における日当、軽食代について
- 10. オンライン資格確認の登録、準備状況について
- 11. 療養費支給申請書及び施術録様式の一部変更について
- 12. 第23回健康21世紀福岡県大会について
- 13. 柔整旗争奪第42回福岡県少年柔道大会について
- 14. 福岡マラソン2024救護について
- 15. 令和6年4、5、6月度収支決算報告について
- 16. その他

(報告事項)

- 1. 職務執行状況報告について
- 2. 各部会報告について
- 3. 各審査会報告について
- 4. 日整通常総会報告について
- 5. 日整理事会報告について
- 6. 日整四国学術大会香川大会報告について
- 7. 令和6年度第1回超音波観察装置研修会報告について
- 8. 2024金鷲旗柔道大会救護報告について
- 9. その他

令和6年度第4回理事会
令和6年10月30日(水) 18:00 ～

議題

- 1. 新入会員入会について
 - 2. 令和6年8、9月度収支決算報告について
 - 3. 令和6年度上期監査報告について
 - 4. (公社)福岡県柔道整復師会災害時連絡網の構築について
 - 5. 日整全国大会の支弁について
 - 6. (公社)京都府柔道整復師会との意見交換会について
 - 7. 日本柔道整復接骨医学会学術大会の支弁について
 - 8. 松岡保先生旭日双光章受章祝賀会決算報告について
 - 9. 福整会Web帳票サービス契約更新について
 - 10. 令和6年度第33回福岡県整骨医学会について
 - 11. 福岡マラソン2024救護について
 - 12. その他
- (報告事項)
- 1. 職務執行状況報告について
 - 2. 各部会報告について
 - 3. 各審査会報告について
 - 4. 日整理事会報告について
 - 5. マイナンバーカードオンライン資格確認登録状況について
 - 6. 日整匠の技指導者講習会報告について
 - 7. 健康21世紀福岡県大会出展報告について
 - 8. 第42回福岡県少年柔道大会報告について
 - 9. 全日本柔道連盟医科学研究会報告について
 - 10. その他

令和6年度第5回理事会
令和6年12月13日(金) 16:00 ～

議題

- 1. 新入会員入会について
- 2. 令和6年度職員下期賞与について
- 3. 厚生労働大臣表彰受賞者への記念品について
- 4. 福岡県整骨会館使用許可願いについて
- 5. 外部理事及び外部監事の検討について
- 6. 日整「ReBorn」意見交換会について
- 7. 日整「災害対応研修」について
- 8. 令和6年度新入会員保険研修会について
- 9. 令和6年度保険研修会について
- 10. 令和7年度レセプト提出締切日について

- 11. 令和6年度第33回福岡県整骨医学会について
 - 12. 北九州マラソン2025救護依頼について
 - 13. 第28回久留米つつじマーチ救護依頼について
 - 14. 支部の在り方について
 - 15. 令和6年10月度収支決算報告について
 - 16. その他
- (報告事項)

- 1. 職務執行状況報告について
- 2. 各部会報告について
- 3. 各審査会報告について
- 4. 日整理事会報告について
- 5. 日整全国少年柔道大会、形競技会報告について
- 6. 日本柔道整復接骨医学会学術大会報告について
- 7. 日整匠の技指導者講習会報告について
- 8. 福岡マラソン2024救護活動報告について
- 9. 教育課程編成委員会報告について
- 10. (公社)京都府柔道整復師会視察結果報告について
- 11. その他



会務執行状況報告

令和6年1月～12月



副会長・総務部長
重松 哲夫

1月	
4日(木)	仕事始め(総務打ち合わせ、国保連合会来館対応) 西日本シティ銀行新年賀詞交換会
9日(火)	学術会務(福岡県整骨医学会応募論文審査)
10日(水)	総務会務(新年挨拶廻り) 経理会務(決済) 学術会務(福岡県整骨医学会応募論文審査)
12日(金)	学術部会
13日(土)	第46回全国高等学校柔道選手権大会中部ブロック 予選大会救護 第46回全国高等学校柔道選手権大会筑豊ブロック 予選大会救護 第46回全国高等学校柔道選手権大会南部ブロック 予選大会救護
14日(日)	第46回全国高等学校柔道選手権大会中部ブロック 予選大会救護 第46回全国高等学校柔道選手権大会筑豊ブロック 予選大会救護 第46回全国高等学校柔道選手権大会南部ブロック 予選大会救護
15日(月)	総務会務(白木雅巳会員ご母堂葬儀参列)
17日(水)	公的審査会・国老審査会・労災審査会 福岡県医師会新春懇談会 保険会務(個別指導)
18日(木)	Webバンキング送金決済 総務・経理部会 保険会務(個別指導)
26日(金)	福岡医健・スポーツ専門学校教育課程編成委員会
27日(土)	第46回福岡県高等学校柔道選手権大会救護
28日(日)	第46回福岡県高等学校柔道選手権大会救護 ゆくはしシーサイドハーフマラソン2024救護

2月	
6日(火)	第70回福岡県公衆衛生大会
7日(水)	北九州マラソン2024現地説明会
9日(金)	広報会務(印刷会社打ち合わせ) 学術部会
11日(日)	日整匠の技指導者養成講座
13日(火)	総務会務(日整Reborn会議視聴、北九州マラソン 事前打ち合わせ) 経理会務(決済)

	保険会務(福岡県警中央署来館対応) 三役会(理事会打ち合わせ) 九州医療スポーツ専門学校業界特別講義リハーサル
16日(金)	九州医療スポーツ専門学校業界特別講義
18日(日)	北九州マラソン2024救護
19日(月)	Webバンキング送金決済 公的審査会・国老審査会・労災審査会 令和5年度第7回理事会 総務会務(大神会員実母葬儀参列) 保険会務(新入会員指導)
20日(火)	令和5年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰式
27日(火)	総務・経理部会(定例)

3月	
2日(土)	日整関東学術大会神奈川大会
3日(日)	日整関東学術大会神奈川大会
8日(金)	令和5年度保険研修会動画撮影
9日(土)	令和5年度新入会員保険研修会 第32回福岡県整骨医学会リハーサル
10日(日)	第32回福岡県整骨医学会・第32回生涯学習研修会 第41回福岡県少年柔道大会救護 柔道救護担当講習会
11日(月)	経理会務(決済) 福整広報最終編集会議
18日(月)	Webバンキング送金決済 公的審査会・国老審査会・労災審査会 三役会(理事会打ち合わせ) 令和5年度予算編成会議
24日(日)	日整全国会長会議
25日(月)	総務経理部会
26日(火)	令和5年度第8回理事会 令和5年度第4回支部長会議
29日(金)	総務会務(日本スポーツ振興センター来館対応) 総務会務(愛知県柔道整復師会合同研修会)
31日(日)	ニューレジリエンスフォーラム

4月	
4日(木)	学術部会
6日(土)	2024年全日本選抜体重別選手権大会救護
7日(日)	2024年全日本選抜体重別選手権大会救護 総務会務(Dr.講師紹介依頼)
10日(月)	経理会務(決済)
16日(火)	公的審査会・国老審査会・労災審査会 保険会務(福岡県警交通捜査課対応、個別指導) 令和5年度新入会員保険研修会補講 福岡県少年柔道大会運営委員会
18日(木)	Webバンキング送金決済 総務・経理部会(定例) 三役会(理事会打ち合わせ)
20日(土)	総務会務(日本会議期末常任理事会)

会務執行状況報告

	久留米つつじマーチ救護
21日(日)	久留米つつじマーチ救護
26日(金)	令和5年度下期監査会 経理会務(貸金庫解錠) 令和6年度第1回理事会
30日(火)	保険会務(個別指導帯同)

5月	
7日(火)	総務会務(叙勲受章伝達式)
10日(金)	総務会務(勲章伝達式並びに受章者式典、拝謁) 保険会務(違反広告対応)
11日(土)	令和6年度高体連柔道選手権大会中部ブロック予選会 救護 令和6年度高体連柔道選手権大会筑豊ブロック予選会 救護 令和6年度高体連柔道選手権大会南部ブロック予選会 救護
13日(月)	経理会務(決済)
17日(金)	Webバンキング送金決済 保険会務(自賠責調査事務所来館対応) 福岡医健スポーツ専門学校教育課程編成委員会
20日(月)	公的審査会・国老審査会・労災審査会
23日(木)	総務会務(松岡顧問叙勲受章祝賀会実行委員会) 経理会務(口座開設手続き)
25日(土)	総務会務(令和6年度定時総会リハーサル) 令和6年度高体連福岡県柔道選手権大会救護
28日(日)	令和6年度定時総会 総務会務(日整災害対策委員会報告) 令和6年度高体連福岡県柔道選手権大会救護

6月	
5日(水)	総務会務(次亜塩素酸水引取)
8日(土)	九州ジュニア柔道大会福岡県予選大会
9日(日)	(公社)京都府柔道整復師会社団設立70周年記念式典
10日(月)	経理会務(決済) 三役会(理事会打ち合わせ)
11日(火)	令和6年度第2回学術部会
15日(土)	福岡医療専門学校教育課程編成委員会
16日(日)	第41回福岡県少年柔道選手権大会救護
18日(火)	公的審査会・国老審査会・労災審査会 令和6年度第2回理事会 総務会務(少年柔道大会スポンサー対応) 保険会務(新入会員保険指導)
19日(水)	Webバンキング送金決済 総務・経理部会(定例) 保険会務会(各地区保険研修会準備)
20日(木)	保険会務(個別指導)
27日(木)	総務会務(叙勲受章祝賀会準備)
29日(土)	第51回日整九州学術大会佐賀大会開会式・前夜祭
30日(日)	第51回日整九州学術大会佐賀大会 九州ジュニア柔道大会体重別選手権大会救護

7月	
2日(火)	総務会務(国保連合会常務理事就任挨拶来館対応)

4日(木)	総務会務(叙勲受章祝賀会打ち合わせ)
8日(月)	総務会務(叙勲受章祝賀会案内状持参)
10日(水)	経理会務(決済) 三役会(第1回支部長会議打ち合わせ) 保険部会(令和6年度各地区保険研修会準備) 令和6年度広報通信員会議
11日(木)	総務会務(西日本新聞社金鷲旗救護依頼対応)
13日(土)	福岡市中学校総合体育大会救護 筑前地区中学校柔道大会救護 筑後地区中学校柔道大会救護
14日(日)	日整四国学術大会香川大会 福岡市中学校総合体育大会救護 筑後地区中学校柔道大会救護
15日(月)	日整四国学術大会香川大会
17日(水)	公的審査会・国老審査会・労災審査会 令和6年度第1回支部長会議 保険部会(令和6年度各地区保険研修会準備)
18日(木)	Webバンキング送金決済 総務・経理部会 保険会務(違反広告、看板対応)
19日(金)	保険会務(レセコン会社打ち合わせ会議)
22日(月)	金鷲旗高校柔道大会救護 総務会務(前原信夫会員実母通夜参列)
23日(火)	金鷲旗高校柔道大会救護
24日(水)	金鷲旗高校柔道大会救護
26日(金)	令和6年度第69回福岡県中学校柔道大会救護
27日(土)	令和6年度北九州地区保険研修会 令和6年度第69回福岡県中学校柔道大会救護

8月	
3日(土)	令和6年度大牟田・有明地区保険研修会
4日(日)	第24回行橋市長旗争奪少年柔道大会
8日(木)	総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備)
9日(金)	経理会務(決済) 三役会(理事会打ち合わせ) 健康21世紀福岡県大会実務者会議 第42回福岡県少年柔道大会組合せ抽選会
17日(土)	令和6年度筑豊地区保険研修会
18日(日)	令和6年度第1回超音波観察装置研修会 日整匠の技指導者養成講座 (公社)福岡県鍼灸マッサージ師会古賀慶之助氏 藍綬褒章受章記念祝賀会
19日(月)	Webバンキング送金決済 公的審査会・国老審査会・労災審査会 令和6年度第3回理事会
20日(火)	暴力追放福岡県民大会 総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備)
21日(水)	総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備)
23日(金)	総務経理部会
24日(土)	令和6年度久留米地区保険研修会
25日(日)	第106回九州柔道大会救護
26日(月)	総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備) 総務会務(災害研修会講師派遣依頼)
27日(火)	保険会務(違反広告情報提供)

会務執行状況報告

28日(水) 公衆衛生推進連携協力会議
総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備)

31日(土) 総務会務(叙勲受章記念祝賀会準備)

9月

1日(日) 松岡保先生旭日双光章受章祝賀会

3日(火) FAVAワンヘルス福岡オフィスを支援する会発会式

4日(水) 総務会務

7日(土) 第42回福岡県少年柔道大会準備会

8日(日) 第42回福岡県少年柔道大会

10日(火) 経理会務(決済)
令和6年度第3回学術部会

15日(日) 2024九州ベテランズ柔道大会救護

17日(火) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
総務会務(日赤福岡県支部災害研修会、AED講習会)
令和6年度第2回支部長会議

19日(木) Webバンキング送金決済
総務・経理部会

21日(土) (公財)全日本柔道連盟医科学研究会柔道救護担当者講習会

22日(日) (公財)全日本柔道連盟医科学研究会柔道救護担当者講習会
福岡県民スポーツ大会柔道競技救護

24日(火) 広報会務(JumpUpFukusei編集会議)

25日(水) 総務会務(災害対策委員打ち合わせ会議)

26日(木) 総務会務(次亜塩素酸水引き取り)

28日(土) 令和6年度福岡地区保険研修会

10月

5日(土) 高体連柔道新人大大会中部ブロック予選会救護

6日(日) 高体連柔道新人大大会南部ブロック予選会救護
愛知県柔道整復師会社団設立60周年記念式典
高体連柔道新人大大会中部ブロック予選会救護
高体連柔道新人大大会南部ブロック予選会救護

10日(木) 経理会務(決済)

11日(金) 総務会務(故吉原雅英会員通夜参列)

12日(土) 高体連柔道新人大大会筑豊ブロック予選会救護

13日(日) 高体連柔道新人大大会筑豊ブロック予選会救護

14日(月) 長野県柔道整復師会社団設立55周年記念式典
第23回健康21世紀福岡県大会

17日(木) Webバンキング送金決済
公的審査会・国老審査会・労災審査会
JumpUpFukusei最終編集会議

20日(日) 全九州実業団対抗柔道大会救護

25日(金) 総務・経理部会
三役会(理事会打ち合わせ)
総務会務(叙勲祝賀会決算報告)

26日(土) 日本鍼灸師会全国大会IN福岡
福岡県高等学校柔道新人大大会

27日(日) 福岡県高等学校柔道新人大大会

30日(水) 令和6年度上期監査会
令和6年度第4回理事会
総務会務(災害緊急連絡実施テスト)
新入会員保険指導

11月

2日(土) 令和6年度筑後地区中学校新人体育大会救護

5日(火) 総務会務(福岡マラソン救護打ち合わせ)

10日(日) 福岡マラソン2024救護活動
日整匠の技指導者養成講座

11日(月) 経理会務(決済)

12日(火) 総務会務(京都府社団への視察、意見交換会)

13日(水) 総務会務(京都府社団への視察、意見交換会)

16日(土) 日整生涯学習研修会
福岡医療専門学校教育課程編成委員会
令和6年度筑前地区中学校新人柔道大会救護

17日(日) 日整全国少年柔道大会、形競技会

18日(月) 公的審査会・国老審査会・労災審査会

19日(火) Webバンキング送金決済
総務・経理部会(定例)

23日(土) 令和6年度福岡県高等学校新人柔道大会救護

24日(日) 令和6年度福岡県高等学校新人柔道大会救護

30日(土) 第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会

12月

1日(日) 第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会
第40回福岡県女子柔道選手権大会救護

3日(火) 保険会務(保険研修会講師派遣依頼)

6日(金) 総務会務(故別府靖之会員通夜参列)

7日(土) 総務会務(故別府靖之会員葬儀参列)

9日(月) 延塚奉行顕彰武道大会救護
総務会務(総務打ち合わせ)

10日(火) 三役会(理事会、支部長会議事前打ち合わせ)
総務会務(福岡マラソン事務局訪問)
経理会務(決済)
学術部会

13日(金) 公的審査会・国老審査会
令和6年度第5回理事会
令和6年度第3回支部長会議
令和6年度合同研修会

14日(土) 令和6年度第42回男子第32回女子福岡県中学校新人柔道大会救護

15日(日) (公社)日本柔道整復師会設立70周年記念式典祝賀会

18日(水) 日赤紺綬会
保険会務(保険研修会講師派遣依頼)

19日(木) Webバンキング送金決済
総務・経理部会(定例)

20日(金) 総務会務(福岡医療専門学校業界特別講義)

26日(木) 2024サニックス旗福岡国際中学生柔道大会救護

27日(金) 総務会務(仕事納め式)

保険部だより



副会長・保険部長
村田 栄治

令和6年度健康保険料金改定について

- 改定率 +0.26%
- 改定内容及び実施時期
令和6年6月1日～
①初検料 +30円(1,520円→1,550円)
②電療料 +3円(30円→33円)
令和6年10月1日～
①明細書交付の義務化対象の拡大に伴う、明細書発行体制加算
13円→10円
※明細書を無償で患者に交付した場合、同月内に1回のみ算定可。
※明細書発行機能のあるレセコンを設置している施術所が対象。(常勤職員数は不問)
※発行頻度は毎回発行が原則だが、患者の求めに応じて1ヶ月単位でまとめて交付することも差し支えないこと。
※明細書発行体制加算の算定に当たっては、届出は要しないこと。
②長期間施術における後療料、温電法料、冷電法料及び電療料の通減率変更
(骨折又は不全骨折を除く)
5ヶ月超の長期
80%通減→5ヶ月超の長期 75%通減
かつ1ヶ月あたり10回以上の頻回は50%通減※
※この場合において、所定料金の100分の50に相当する額と、所定料金の100分の75に相当する額との差額の範囲内に限り、所定料金の100分の50に相当する額により算定した額を超える金額の支払いを患者から受けることができる。

明細書発行義務化対象の拡大について

従来の常勤3名以上の条件が撤廃され、明細書交付機能が付与されているレセプトコンピュータを設置している施術所は、全て明細書発行の義務化対象となります。

※明細書発行体制加算(月1回) 10円

〈注意事項〉

- ①明細書発行について、レセコン導入施術所は患者に対し施術所側から明細書の交付が必要か不要かを確認することは出来ません。(発行義務が原則であるため)
- ②患者側から明細書不要の申し出があった場合は、以下のような対応をとることを推奨いたします。**(明細書発行体制加算を算定できません)**
対応例: 明細書は一旦発行し、手交後に備え付けのゴミ箱等に捨ててもらうか、そのまま置いて帰ってもらう等してください。併せて、**患者照会対策のため、明細書を発行した日付及び不要の申出を受けた日付を、施術録に記録しておいてください。**そして、翌月以降当該患者が来院された場合は、**月初の来院日に一旦明細書を発行した上で「今月も明細書の発行は不要でしょうか」と確認を行ってください。**

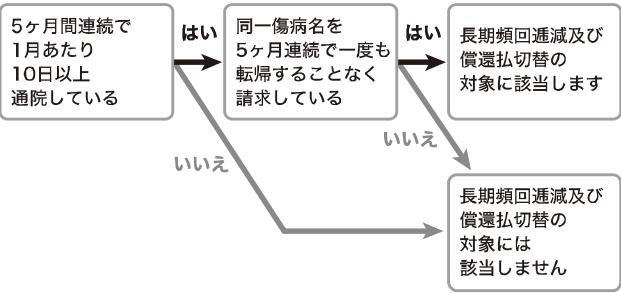
- ③患者側から明細書不要の申し出により、明細書を全く発行しない場合、当該患者の請求について**明細書発行体制加算は算定できません。**
※審査会及び保険者の内部審査において、レセコンを使用していながら、**明細書発行体制加算の算定件数が極端に少ない施術所、或いは全く算定していない施術所は疑義扱いとなり、面接確認や患者照会の対象となりますのでご注意ください。**
なお、明細書を発行せずに明細書発行体制加算を算定することは不正請求となりますので併せてご注意願います。

長期・頻回受療に係る療養費の適正化について

- 1. 同一傷病を長期施術(初検日を含む月(ただし、初検の日が月の16日以降の場合にあっては、当該月の翌月)から起算して5か月を超える月における施術(骨折又は脱臼に係るものを除く。))については、後療料、温電法料、冷電法料及び電療料について所定料金の100分の75に相当する額により算定(従来は100分の80)
- 2. 同一傷病を長期施術のうち、1か月あたり10回以上の施術を5ヶ月連続で継続している頻回施術については、5ヶ月の翌月以降に行う施術については、後療料、温電法料、冷電法料及び電療料について、所定料金の100分の50に相当する額により算定
- 3. 所定料金の100分の50に相当する額により算定した患者の頻回施術については、当該施術に係る料金について、長期施術に係る所定料金の100分の75に相当する額の範囲内において、患者に対する説明の上、柔道整復療養費の一部負担金の支払いとは別に金額の支払いを受けることができる

患者ごとの償還払いに変更できる事例の追加

同一傷病を長期施術かつ頻回な施術を継続して受けている患者(初検日から5ヶ月を超えて、かつ1か月あたり10回以上の施術を継続して受けている患者)
※長期・頻回受療に係る料金の適正化において後療料、温電法料、冷電法料及び電療料が、所定料金の100分の50相当額により算定される患者
※同一傷病を長期(5ヶ月連続)かつ頻回(1月あたり10回以上)な施術を継続した患者が償還払変更の対象となります。※以下フローを参照のこと



※患者ごとの償還払いに変更できる事例(4類型→5類型)

- ①自己施術(柔道整復師による自身に対する施術)に係る療養費の請求が行われた柔道整復師である患者
- ②自家施術(柔道整復師による家族に対する施術、柔道整復師による関連施術所の開設者及び従業員に対する施術)を繰り返し受けている患者
- ③保険者等が、患者照会を適切な時期に患者に分かりやすい照会内容で繰り返し行っても、回答しない患者
- ④複数の施術所において同部位の施術を重複して受けている患者
- ⑤長期かつ頻回な施術を継続して受けている患者(初検日から5ヶ月を超えて、かつ1か月あたり10回以上の施術を継続して受けている患者) ※追加

令和6年度労働者災害保険料金改定について

初検料／2,545円→2,575円
電気光線療法料(電療料)／550円→553円
新料金施行期日／令和6年10月1日以降の施術分より適用

マイナンバーカード保険証について

- 1. 従来の発行済み保険証の有効期限について
国保・後期高齢者→令和7年7月31日まで
協会けんぽ、健保組合、共済等→令和7年12月1日まで
※資格喪失や変更があった場合、従来の健康保険証は使用できません。
※新規で資格を取得する方は原則マイナンバーカードとの紐付けとなります。
但し、新規で後期高齢者になれる方や資格情報が変更になった方等には、令和7年8月の年次更新までの間、マイナ保険証をお持ちであっても「資格確認書」が交付されます。
- 2. マイナンバーカードを持っていない方、マイナ保険証の紐付けを行っていない方、提示されたマイナ保険証が読み取れない方(カードの券面汚損、ICチップの破損、カードリーダーの故障、自院の通信障害等)の対応について

保険者から被保険者宛に送付された「資格確認書」や「資格情報のお知らせ」または、マイナポータル画面(マイナポータルからダウンロードしたPDFファイルも可)で資格確認を行うようにしてください。

※マイナ保険証を保有していない人(マイナンバーカードを取得していない人も含む)には、保険者から「資格確認書」が交付されます。「資格確認書」はカードタイプや葉書サイズなど保険種別によって異なる仕様となります。

※「資格情報のお知らせ」はマイナ保険証を保有している人及び、新たに保険に加入したときや、前期高齢者で自己負担割合が変更(70歳以上の被保険者)されたときなどに「資格情報のお知らせ」が発行されます。(A4サイズ)なお、「資格情報のお知らせ」「マイナポータル画面」は、マイナ保険証と併せて提示が必要となります。(単体では受診不可)

※資格確認書等が無い場合においては、過去の受療歴から当該患者の資格情報が確認でき、前回来院時から保険資格が変わっていないことを患者に確認する方法もありますが、100%正確とは限りませんのでご注意ください。

- 3. 患者の住所確認、旧字確認について
患者(被保険者)住所情報はマイナ保険証オンライン資格確認では読み取りができません。従って、マイナンバーカード表面に記載されている住所を目視で確認して記録するようにしてください。また、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を実施した際、氏名に旧字等が含まれていると黒丸「●」で表示されますので、正確な表記はカード表面に記載されている氏名情報で確認するか、口頭で患者に確認してください。
- 4. マイナンバーカードの一時預かりやコピーについて
マイナンバーカードによる資格確認を行う際、保険請求の実施に必要な範囲内において、患者本人に予め了解をとったうえで、マイナンバーカードの表面に印字された患者の氏名・住所等の情報を確認すること、また、そのために一時的に患者のマイナンバーカードを預かること及びその表面を

コピーして保管することは差し支えありません。但し、コピーを取る場合は、個人情報保護法に基づき、適切な取扱いと厳重な管理の下で行うようにしてください。また、マイナンバーカードの裏面に記載されたマイナンバーの書き写しやコピーを取ることは一切出来ませんのでご注意ください。

- 5. マイナ保険証の運用について
整骨院・接骨院でのマイナ保険証による資格確認に於いては、健康保険の請求に必要な患者資格情報しか確認出来ません。
従って、患者の他の医療機関への通院歴や薬剤の服用歴、その他の個人情報に関する事項といった、個人のプライバシーに関する情報は一切閲覧できませんので、その旨理解したうえで、患者が安心してマイナ保険証が利用できるよう努めてください。

- 6. その他
①後期高齢者については原則75歳の誕生日から資格取得となりますが、マイナンバーカードによる資格確認は誕生日を迎えたその日から可能となります。
当該患者には「資格情報のお知らせ」が届きますが、通院中の患者で75歳の誕生日を控えている方がいる場合、施術所側も予め留意しておくようにしてください。
- ②医療助成(子ども医療、障がい者医療、ひとり親家庭医療、原爆被爆者、水俣病)の資格情報についてはマイナ保険証と紐付けされていません。従来通り患者より受給者資格証等の提示を受けて確認を行うようにしてください。
- ③マイナンバーカードのオンライン資格確認を行うには、インターネット環境及びアプリの正常な動作が必須となりますので、始業前には必ずアプリを立ち上げ、カードの読み取りチェックを実施してください。また、アプリのバージョンアップ通知や、パソコンのWindowsアップデートがある場合は、更新作業を行い常に最新の状態にしておいてください。

不支給決定、不当な返戻が多い保険者

〈健保組合〉

- 【ア行】愛知県トラック業、アコム、旭化成、azbilグループ、アルバック、イオン、いすゞ、いなげや、医療機能推進機構、ウラベ、SGホールディングスグループ、NTN、N Xグループ、エヌ・ティ・ティ、ENEOSグループ、荏原、オエノンホールディングス、大分銀行、大阪鉄商、大阪府貨物運送、岡野バルブ
- 【カ行】鹿児島信用金庫、神奈川県自動車販売、神奈川県電子電気機器、神奈川県電設、川崎汽船、関東百貨店、キャノン、九州電力、九電工、共愛会、京セラ、麒麟、熊本県自動車販売店、神戸製鋼所、小倉記念病院、小松製作所
- 【サ行】サニーピア、サノフィ、サントリー、山九、産業機械、三和ホールディングス、ジェイアールグループ、自動車振興会、十八親和銀行、昭和鉄工、人材派遣、新日鉄、すかいらくグループ、住商連合、住友化学、住友生命、住友ベークライト、セキスイ、セコム、セメント商工、センコー、全国外食産業ジェフ、総合警備保障、ソニー
- 【タ行】ダイハツ系連合、第一生命、大東建託、太陽生命、大和ハウス工業、タカラスタンダード、高田工業所、地域医療機能推進機構、池友会、駐留軍要員(支所)、黒崎播磨、テレビ朝日、東京広告業、東京西南私鉄連合、東京電子機械工業、東京都農林漁業団体、東京薬業、東芝、東洋紡、東糧、徳洲会、TOTO、トヨタ自動車(関連含む)、トランスコスモス
- 【ナ行】西日本シティ銀行、西日本新聞社、日油、日産自動車、日本金型工業、日本銀行、日本精工、日本生命、日本タンクステン、日本マクドナルド、日本旅行、ニューオータニ
- 【ハ行】パナソニック、パレット、パンテック、肥後銀行、日立造船、平田機工、フジクラ、富士通、富士フィルムグループ、フランスベッドグループ、プリチストン、堀場製作所
- 【マ行】マツキヨココカラ&カンパニー、丸井、三井E&S、三井ハイテック、三菱重工
- 【ヤ行】安川電機、ヤマトグループ
- 【ラ行】リクルート、リコー三愛グループ
- 【ワ行】若築建設、ワコール

〈共済〉ガリバー／日本郵政共済、福岡市職員共済

オークス／北九州市職員共済、各県地方職員共済、各県市町村共済、各県警察共済、日本私立学校振興共済事業団
メディブレーン／公立学校共済

〈協会けんぽ〉東京支部、神奈川支部、富山支部、愛知支部、大阪支部、三重支部

〈国保、後期高齢者広域連合〉沖縄市国保、浦添市国保、八重瀬町国保、うるま市国保、沖縄県後期高齢者医療広域連合

〈国保組合〉全国土木建築国保組合

令和7年度 レセプト提出〆切日一覧表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レセプト提出〆切日	7日 (月) 17:00	7日 (水) 17:00	5日 (木) 17:00	7日 (月) 17:00	5日 (火) 17:00	5日 (金) 17:00	6日 (月) 17:00	5日 (水) 17:00	5日 (金) 17:00	5日 (月) 17:00	5日 (木) 17:00	5日 (木) 17:00

※レターパックをポスト投函する場合は〆切前日午前中までに投函してください。それ以降は郵便局に直接持込で送付手配してください。なお、上記〆切日に到着が間に合わない場合は、必ず県事務局へ連絡してください。(〆切厳守のこと)

表彰者紹介

公衆衛生事業功労者



厚生労働大臣表彰

福岡西支部
重松哲夫

公衆衛生事業功労者



厚生労働大臣表彰

北九州西支部
竹内俊洋

公衆衛生事業功労者



厚生労働大臣表彰

福岡西支部
満山悦朗

公衆衛生事業功労者



日本公衆衛生事業功労者協会々長表彰

大牟田・有明支部
松本和寿

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰

福岡東支部
西宮裕二

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰

福岡西支部
小柳政則

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰

筑豊支部
橋本浩二

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰

筑豊支部
石本芳之

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰

久留米支部
別府靖之



第71回福岡県公衆衛生大会風景

松岡 保 先生 旭日雙光章受章

お礼のこ ば

本日は、公私ともご多用の中、私の旭日雙光章受章記念祝賀会にご臨席頂き、厚く御礼申し上げます。

令和6年春の叙勲に際しまして、図らずも旭日雙光章受章の榮譽に浴しましたことは身に余る光栄であると存じております。

永年にわたる保健衛生の功勞により、令和6年5月7日福岡県庁にて、服部知事より勲記・勲章の伝達を受けました。5月10日皇居豊明殿において、天皇陛下に拝謁し、陛下からお言葉を賜りました。平成26年秋の藍綬褒章拝受以来2度目の天皇陛下への拝謁となりましたことは、私ども夫婦にとりまして終生忘れがたい慶びとなりました。

この榮譽も、公益社団法人福岡県柔道整復師会会員の皆様をはじめ、本日ご臨席頂きました皆様方の永年に亘る温かいご支援、ご指導、お力添えの賜と重ねて厚く感謝申し上げます。

今後は、この榮譽に恥じることのなきようさらに精進をいたしまして、皆様方のご厚情にお応えする所存でございます。

また、発起人や世話人をはじめ多くの方々のご厚意により、この様な盛大な祝賀会を催していただき、皆様方から身に余るご祝辞や激励のお言葉を賜りましたことに重ねて厚く御礼申し上げます。

結びに、本日ご臨席いただきました皆々様のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、御礼のご挨拶といたします。

松 岡 保

旭 日 雙 光 章



旭日雙光章藍綬褒章着裝の
松 岡 保 先生
令和6年5月10日(拝謁前)



勲章

勲記

松岡 保 先生 旭日雙光章受章記念祝賀会

令和6年9月1日(日) 於 ホテルニューオータニ博多



副会長・総務部長
重 松 哲 夫

令和6年度秋の叙勲・褒賞に於いて、当会の松岡顧問が栄えある旭日雙光章を受章されました。平成26年藍綬褒章に続いての受章となりました。このことはご本人、ご家族の方々はもとより、本会にも大変名誉あることで、とても喜ばしいことと思います。

この受章祝賀会が、令和6年9月1日(日)午前11時よりホテルニューオータニ博多4F「鶴の間」に於いて、政財界、官公庁関係者など59名の来賓を

含む216名が出席のもと華やかに、喜びに満ちて開催されました。

本会塩川 哲也 会長が発起人代表挨拶を行い、参加頂いた来賓の方々へのお礼が述べられました。また松岡顧問のこれまでの功績や本会への貢献が紹介され、エピソードとして、塩川会長が中学生の時に柔道をやっていた関係で、当時嘉穂高校柔道部の監督を務めておられた松岡先生のお父様からスカウトされたご縁で、同じ高校に進学し松岡先生のお家に下宿してからの、先輩後輩の間柄であることや、大学も同じ中央大学、仕事も同じ柔道整復師、会の役職も松岡顧問と同じ道を進むこととなったこと、偉大な先輩の後ろ姿を見ながら追いかけた結果、今日の自分がいると思っており、まさに恩人と言える存在であることが話されました。



旭日雙光章受章記念祝賀会

また、来賓祝辞では麻生 太郎 自由民主党最高顧問、服部 誠太郎 福岡県知事、蔵内勇大世界獣医師会次期会長を始め、各界各層を代表する方々に心温まる有難いお言葉をたくさん頂戴致しました。祝辞の中では皆様口々に松岡先生の柔整業界に対する功績が称えられると同時に、奥様の眞佐子様の内助の功やご家族のご協力に対する賛辞が述べられました。

松岡顧問の謝辞では、ご祝辞を頂いた来賓の方々へのお礼が延べられ、5月10日(金)には皇居に内参し、豊明殿において天皇陛下に拝謁を賜り、また、親しくねぎらいと励ましのお言葉をいただいた旨のお話がありました。

そして、この度の受章は、ただただ目の前のこれまで与えられた仕事を一生懸命に取り組んできただけで、むしろ今まで私を支えてくださった会員の先生方、事務局の皆様、当院の歴代スタッフ、そ

して自分にとって一番大事な妻である眞佐子、家族のお陰であり、みんなの代表で頂いたこの度の叙勲であると、関係者に対しての感謝の言葉が述べられ、『雨垂れ石を穿つ』という言葉がございいますが、これからもこの受章を機に、残りの人生、業界発展と地域医療のため尽力する覚悟でございす」と述べられました。

その後、来賓の方々と共に盛大に鏡開きが行われ、学校法人花田学園 櫻井 康司 理事長の音頭で乾杯が行われ祝宴と移りました。

祝宴ののち松岡顧問の母校である、福岡県立嘉穂高等学校 佐藤 康枝 校長により万歳三唱が行われ閉宴となりました。

今後とも松岡顧問には、健康に充分ご留意され公益社団法人福岡県柔道整復師会がますます発展するようご助言を頂きますことを切にお願い申し上げます。



旭日雙光章受章記念祝賀会



第33回

日本柔道整復接骨医学会学術大会

令和6年11月30日(土)・12月1日(日) 於 東京保健医療専門職大学



学術部長

吉 村 喜 彦

令和6年11月30日(土)・12月1日(日)の両日にわたり東京保健医療専門職大学で開催されました。

「柔道整復師～多様性の時代にどう生きるか」というテーマで大会会長講演、招請講演(公開講座)、シンポジウム、特別講演、教育講演、分科委員会発表、そして数多くの会員口頭発表、学生口頭発表、ポスター発表が行われました。

シンポジウムは「災害時の柔道整復師の役割」というテーマで行われました。九州学会1位通過の筑豊支部吉原雅英会員が10月に急逝されたため、当日は筑豊支部学術部長の角田慈祐会員が1日目の16時30分からC会場で代理発表を行いました。

北九州西支部の星野桂一会員の発表は2日目の12時40分からB会場で行いました。星野会員は北九州



発表者を囲んで

支部学会、県学会、九州学術大会での発表を経て今年4回目の発表となりました。その経験を活かした実に堂々とした余裕の発表でした。角田会員、星野会員とも発表後に会場からの質問はなく、わかりやすく行き届いた内容の発表でした。

今回の一般発表の傾向として、負傷した患部の外観写真とレ線像と超音波観察画像がセットでの発表が多く見受けられました。発表者の年齢層もだんだんと若い優秀な会員の発表が増えてきています。同時進行で複数の会場で行われる口頭発表ですが、どの会場も熱心な聴講者であふれ例年通りの盛況ぶりでした。

一番印象に残っているのは招請講演です。2003年から3年余り日本学術会議会長を務められるなど学術界の最高の経歴をお持ちの黒川清氏の講演です。ある疑問に対して自分で考えることの重要性和結論を見出した時の喜びを切々とお述べになり、大変価値のある講演を聴講できたのは稀有なことでした。

会員の先生方におかれましては日本柔道接骨医学会へ未入会の先生はご入会を、入会済みの先生は年に一度の学術大会へのご参加をお勧めいたします。



発表する角田慈祐会員



発表する星野桂一会員

第33回

日整全国少年柔道大会

第14回

日整全国少年柔道形競技会

令和6年11月17日(日) 於 講道館



副会長・総務部長

重 松 哲 夫

令和6年11月17日(日)講道館大道場に於いて第33回日整全国少年柔道大会及び形競技会が開催されました。

大会は47都道府県代表チームのトーナメント戦で争われました。40チーム程は選抜編成チームで体格も大きく本当に小学生か？と目を疑う選手が何人も見受けられました。

福岡県代表は恐縮ではありますが、私が館長を務める、県予選である本会主催福岡県少年柔道大会で悲願の初優勝を果たした善柔館です。良くここまで来る事ができたなあという思いと、後一步と悔しい思いをして卒業して行ったOBの顔が走馬灯の様に蘇りました。善柔館は出場チーム中、最軽量のチームです。しかし練習量はどこにも負けず、チームワークも最高です。試合は残念ながら一

回戦で静岡県に2対0と惜敗しましたが子供達にとってはかけがえのない思い出になったと思います。

決勝戦は昨年度優勝の宮崎県と大阪府との対戦でしたが、決勝戦らしい白熱した試合でした。結果は宮崎県が2連覇を果たし九州勢では長崎県も奮闘し3位入賞と九州少年柔道のレベルの高さが伺えました。形競技会では福岡県代表の遠賀町青少年柔道クラブが出場し(取)(受)共に女子選手で投げの形を立派に披露して頂きました。残念ながら予選で敗退となりましたが選手達は講道館で形を披露できた事はこれからの柔道人生の糧となるはずです。

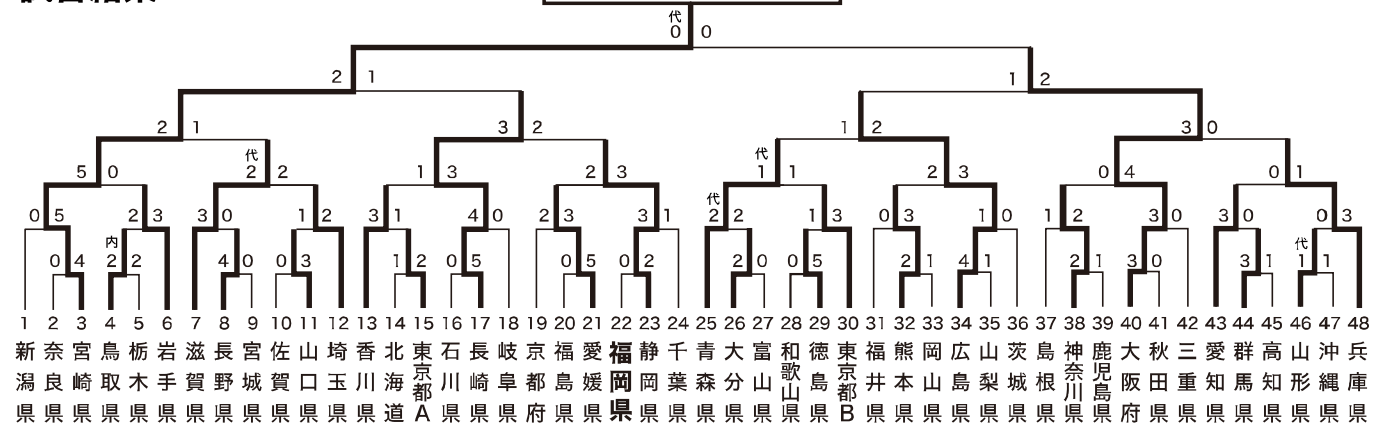
試合、形の競技は日整の動画配信でいつでも観られます。会員の皆様におかれましては、子供達の一生懸命な試合、形競技を是非御覧ください。

今回の試合、形競技に際し役員、監督、コーチ又応援に駆けつけて頂いた保護者の方々に心から感謝申し上げます。

最後に公益事業の一環として柔整旗争奪第43回福岡県少年柔道大会が令和7年9月7日(日)に開催されます。役員はもとより多くの会員の皆様にご協力と応援を宜しくお願いいたします。

第33回日整全国少年柔道大会
試合結果

優勝 宮崎県



第51回

九州学術大会佐賀大会

令和6年6月29日(土)・30日(日) 於 ホテルグランデはがくれ

学術部長
吉村喜彦

令和6年6月29日(土)・30日(日)佐賀県佐賀市のホテルグランデはがくれにおいて公益社団法人日本柔道整復師会第51回九州学術大会佐賀大会が開催されました。29日の開会式・前夜祭には佐賀県知事、地元選出の国会議員など多数の来賓の出席があり、我々の業界に対する温かい祝辞を賜りました。

30日の学術大会は主催者である公益社団法人日本柔道整復師会 長尾会長より挨拶があり、徳山健司学術部長より「匠の技伝承プロジェクトの意義等について」小野博道学術教育担当講師より「エコーを柔整師の手に」と題して講演がありました。



学術大会の様子



坂本雄一郎先生による特別講演



ワークショップの様子



日整長尾会長と発表者

特別講演は佐賀大学医学部 阪本雄一郎 救急医学講座教授 救命救急センター長より「これからの災害対応と柔道整復師」と題して講演がありました。

ワークショップではメイン会場において「匠の技伝承プロジェクト」と「超音波観察装置(エコー)」の実技講習が佐賀県会員の指導者より全参加者を対象として行われました。

会員発表は九州各県より応募のあった論文選考の結果、第1位となった当県の筑豊支部吉原雅英会員の発表を皮切りに、第2位の北九州西支部星野桂一会員の発表に続いて上位8編の発表が行われました。11月30日(土)・12月1日(日)に東京保健医療専門職大学で開催される第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会での論文発表も決定している旨報告され盛会のうちに終了いたしました。

令和6年度

匠の技伝承プロジェクト

学術部長
吉村喜彦

匠の技伝承プロジェクトとは、令和3年9月から「柔道整復術公認100年記念」の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置(エコー)実技研修により、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目的とした養成講座です。

カリキュラムは橈骨遠位端骨折、肩甲上腕関節脱臼、外果骨折、顎関節脱臼、鎖骨骨折・肋骨骨折、肘関節後方脱臼(肘内症を含む)、手指の骨折・脱臼を履修してまいりました。当県より指導者候補として、秋穂一雄会員(福岡南)、安永岳会員(福岡東)、角田慈佑会員(筑豊)、山崎悟会員(久留米)の



講習会の様子



講習会の様子

4名が参加しています。

令和6年度の講習会は4月14日(日)に開催され東日本の各県の受講者が東京の日本柔整会館に對面出席し「鎖骨・肋骨骨折」と「肘関節後方脱臼」の整復固定実技、同部位の超音波画像描出の実技の試験が行われました。

8月18日(日)開催の講習会に当県より秋穂一雄会員、安永岳会員の2名が対面参加し無事合格しております。受講した会員は「各県で匠の技伝承プロジェクト講習会が開催された際には受講者に対して有益な情報を伝達できるように準備して今後の講習に備えていきたい」と決意を新たにしています。

11月10日(日)開催の講習会では、橈骨遠位端骨折の講習を福岡県整骨会館においてオンライン受講し、令和7年2月9日(日)開催の講習会では、肩甲上腕関節脱臼の講習を同じく福岡県整骨会館にてオンライン受講しました。



講習会の様子



吉村学術部長と匠の指導者(安永、秋穂、角田、山崎)

第42回

柔整旗
争奪

福岡県少年柔道大会

令和6年9月8日(日) 於 福岡武道館

大会委員長
西宮裕二

令和6年9月8日(日)福岡武道館に於いて柔整旗争奪第42回福岡県少年柔道大会が県内49チーム238名の小学生により団体戦形式で開催されました。

この大会は、地域福祉活動に関する重要な本会の公益事業であり青少年の健全育成と柔道競技の普及を目的に毎年開催されています。

開会式では、西宮大会委員長の開会宣言に始まり、塩川大会会長の挨拶の後、日整全国少年柔道大会「形の部」に福岡県代表として出場する、遠賀町青少年柔道クラブの選手による「投げの形」を披露して頂き会場より盛大な拍手を受けていました。

試合が始まると、各チームによる熱戦が繰り広げられ大きな歓声が送られていました。

決勝戦では、2年連続で決勝に駒を進めた善柔館と志摩柔道スポーツ少年団の対戦となり激戦の末、善柔館が初優勝を果たし日整全国少年柔道大会出場の切符を手に入れました。

この大会も今回で第42回となりましたが、永き良き伝統を受け継ぎ更に充実した大会として開催できますよう微力ながら尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、本大会開催にあたり温かいご理解とご協力を頂いた関係各位の皆様、並びに大会運営係としてお手伝い頂いた会員の先生方に感謝申し上げます。

〈団体戦の部〉



優勝 善柔館



準優勝 志摩柔道スポーツ少年団



3位 信和塾



3位 筑前町スポーツ少年団夜須柔道部

〈形の部〉

遠賀町青少年柔道クラブ
(取)高崎 美緑 (受)筋田 瑚海

第33回

第33回

福岡県整骨医学会
生涯学習研修会

令和7年3月9日(日) 於 電気ビルみらいホール

学術部長
吉村喜彦

令和7年3月9日(日)午後1時より電気ビルみらいホールで開催されました。出席者は会員148名、学生及び一般73名の合計221名の出席となりました。

特別講演は、(公社)富山県柔道整復師会会員、高崎接骨院院長、富山臨床接骨学研究会会長の高崎浩先生に「私が行っている骨折・脱臼に対する柔整

的対応」と題してご講演を賜りました。

骨折と脱臼の整復のポイントを10数本の整復・固定動画を交えてながら、最近は来院頻度の少なくなった骨折・脱臼の実際の症例をご講演いただきました。若い会員の先生方や学生にとっては貴重な講演になったことと思います。

今年も研究論文は9支部より9編の論文が提出され、論文審査の結果、上位2編に選ばれた北九州西支部の徳永和也会員と北九州南支部の中川貴博会員の論文が(公社)日本柔道整復師会九州学術大会への応募論文と決定いたしました。

そして、生涯学習研修会の特別発表として、今年で3回目となる超音波観察装置委員会による「肘



塩川学会長・吉村実行委員長と発表者

福岡県整骨医学会・生涯学習研修会

関節損傷における超音波画像の読影」と題して、症例紹介から実際のプローブ操作まで実技を交えた判りやすい内容での発表を行っていただきました。

その後日整匠の技指導者講習会として、4名の日整匠の技指導者より「足関節果部骨折の超音波観察、整復、固定実技」と題して、患部のエコー観察から整復、固定までの流れを解説しながら充実した発表を行って頂きました。

発表者の先生方におかれましては大変お疲れ様でした。



講師の高崎浩先生



実技の様子

発表者



立位体前屈における足底筋膜の影響について

北九州西支部
徳 永 和 也



足関節背屈運動による下腿三頭筋の柔軟性獲得について

北九州南支部
中 川 貴 博



自動的他動的ストレッチとTRXストレッチの比較検証

北九州中央支部
後 藤 政 孝



膝関節屈曲制限に対する関節モビライゼーションの検証

大牟田・有明支部
岡 伸 一



体幹前屈制限に対する負荷量別筋収縮後弛緩の検証

久留米支部
高 松 義 之

令和6年度

各地区保険研修会



保険担当理事
柴 田 修 一

今年度の各地区保険研修会も7月27日の北九州地区から9月28日の福岡地区まで全5地区で開催し、多くの先生方にご参加頂きました。

塩川会長の挨拶から始まり、村田副会長兼保険部長より「令和6年度料金改定」、重松副会長兼総



挨拶する塩川会長



役員と講師



説明中の重松副会長



研修会の様子

務部長より「審査会の現況及び登録・届出事項について」、保険担当理事の私柴田より「広告に関する検討会報告について」、後藤事務局長より「オンライン資格確認、その他について」の説明があり、保険研修会に参加された先生方に理解を深めて頂いたと思います。

今後医療DX(デジタル化)が進むにつれて、様々な問題点が出てくるかと思いますが、より一層先生方を支援していく所存ですので、来年度の保険研修会も必ず出席して頂きますよう、宜しくお願いいたします。

令和6年度

超音波観察装置研修会

令和6年8月18日(日) 於 福岡県整骨会館



超音波観察装置委員会委員長
大原 康宏

令和6年度の研修会は、令和6年8月18日(日)の9時30分から12時まで整骨会館で行われました。今回の委員会のメンバーは、勝田浄邦先生、角田慈佑先生、堤賢一先生と私大原で行いました。毎回参加者が20人前後と少なく、ほぼ同じ顔ぶれのため本会の公益事業として続けていけるか心配していました。そこで今回は、将来の柔整業界を担っていく養成校の学生達にも参加をしてもらいました。今回の参加者は社団の会員26名と、福岡医療専門学校及び九州医療スポーツ専門学校の教員学生24名の合計50名が参加され、大変活気溢れる研修会となりました。

研修会の内容は、先ず座学として「入門 運動器の超音波観察法 実技編」に沿って肩関節の描出について学びました。

次に実技を行い、今回は参加者の希望を募り3つのブース分けを行いました。ブース①は未経験者、初心者向け、ブース②は経験者。ブース③は上級者や日頃疑問に思っていることを相談する何でも相談室としました。参加者はそれぞれ希望するブースに分かれ、インストラクターに指示された組織についてお互いの肩にプローブを当てて描出しました。

未経験者や初心者向けのブース①では養成校の学生達も一緒に参加されました。学生の中には研修先で超音波観察装置に触れている方もいて上手に描出されていました。また初めて超音波観察装置に触れる学生は、目を輝かせてプローブを動かし一所



座学の様子



実技の様子

懸命指示された組織を描出するなど、熱心に勉強されていました。またブース②、ブース③もインストラクターの先生が熱心に指導され、参加者も沢山の質問をして大変盛況でした。

超音波観察装置を使用している柔整師は非常に少ないのが現状です。超音波観察を保険請求出来るように厚労省にお願いしようとしても、せめて全柔整師の半分近くが使用している現状じゃないと検討すらしてくれません。

今後も超音波観察に興味を持ってもらえるよう、超音波観察装置委員会一同頑張りますので宜しくお願いいたします。

令和6年度

新入会員保険研修会

令和7年3月8日(土) 於 福岡県整骨会館



保険担当理事
柴田 修一

令和7年3月8日(土)15:00より福岡県整骨会館において令和6年度新入会員保険研修会を開催いたしました。対象者は令和6年1月から12月までに入会した21名です。

初めに塩川会長より挨拶があり本日の研修会の目的である、受領委任と医療保険の違い、協定と契約の意味、管理柔道整復師と勤務柔道整復師の責任所在について説明をして頂きました。

続いて各講師の紹介後、西宮事業部長よりパワーポイントを使った当会の現状と他団体の比較をし、当会の定率会費等が他団体よりも安価に設定されており、公益社団法人として安心、安全な運用がされている事を丁寧に説明いたしました。

研修に移り、指導内容として施術録における原因や初検時の症状記載、近接部位の他、特に審査会



説明をする西宮事業部長



会場の様子

でよく審査される項目、日計表については金額の確認と共に明細書の発行義務化に伴い、きちんと発行されているかの確認をいたしました。

今回参加された新入会員の先生方は、施術録をしっかりと書かれているので、これからもルールを守り適正な療養費の請求をして頂きたいと思います。

最後に村田副会長より交通事故の請求に関していくつかの注意点を説明し閉会となりました。

来年度も実りある新入会員保険研修会となりますよう心より願っております。



塩川会長挨拶

令和6年度

支部活動報告

〈福岡東支部〉



広報通信員
仲 尾 一 平

〈令和6年度役員名〉

支 部 長 梅村 忠嗣
副支部長 上田 康紀
総務部長 本多 宏次
経理部長 上田 康紀
学術部長 安永 岳
広報部長 仲尾 一平
学術部員 千年原 稔
学術部員 川越 康平

- 令和6年6月27日(木)
第1回役員会(ロイヤルホスト古賀流店)
- 令和6年9月13日(木)
第2回役員会 ※南支部合同開催(オンライン)
- 令和6年9月28日(土)
第1回定例会 ※南支部合同開催(整骨会館)
- 令和6年10月18日(金)
第3回役員会 ※西・南支部合同開催(オンライン)
- 令和6年12月20日(金)
第4回役員会(ロイヤルホスト古賀流店)
- 令和7年1月25日(土)
第2回定例会 ※西・南支部行動合同開催(整骨会館)

【学術部会】

令和6年度は5回の学術部会を行いました。
(うえだ整骨院)
発表者／上田 康紀

〈福岡西支部〉



広報通信員
石 井 広 太

〈令和6年度役員名〉

支 部 長 曲淵 靖洋
副支部長 松山 基博
総務部長 竹原 伸治
経理部長 藤田 浩徳
学術部長 松山 基博
広報部長 石井 広太
学術部員 力武 雄一
学術部員 中村 将則
学術部員 松山 基光

- 令和6年5月22日(水)
第1回役員会(曲淵整骨院)
- 令和6年7月7日(土)
第1回定例会(福岡市立西市民センター)
- 令和6年10月18日(金)
第2回役員会 ※東・南支部合同開催(オンライン)
- 令和6年12月18日(水)
第3回役員会(曲淵整骨院)



第2回定例会の様子

- 令和7年1月25日(土)
第2回定例会 ※東・南支部合同開催(福岡県整骨会館)
- 【学術部会】
令和6年度は5回の学術部会を行いました。
(松山整骨院)
発表者／中山 晃雄
★以上が本年度の支部活動報告です。

〈福岡南支部〉



広報通信員
上 村 大 地

〈令和5年度役員名〉

支 部 長 久保山 茂
副支部長 東野 重徳
総務部長 轟 修治
経理部長 草場 拓馬
学術部長 秋穂 雄
広報部長 上村 大地
学術部員 井上 昌己
学術部員 柳 和宏

- 令和6年4月12日(金)
第1回役員会(オンライン)
- 令和6年4月20日(土)
第1回定例会(福岡市立南市民センター)
- 令和6年7月19日(金)
第2回役員会(オンライン)
- 令和6年9月13日(金)
第2回役員会 ※東支部合同開催(オンライン)
- 令和6年9月28日(土)
第2回定例会 ※東支部合同開催(整骨会館)
- 令和6年10月18日(金)
第3回役員会 ※東・南支部合同開催(オンライン)
- 令和6年12月30日(金)
第4回役員会(オンライン)
- 令和7年1月25日(土)
第3回定例会 ※東・西支部合同開催(整骨会館)

【学術部会】

令和6年度は4回の学術部会を行いました。
(だいち接骨院・リモート)
発表者／上村 大地
テーマ「股関節開排制限に対する高周波通電と腓骨筋への施術の効果」
★以上が本年度の支部活動報告です。
今年度も支部定例会、保険研修会、マラソン救活動等を会員の皆様のおかげで行うことができました。



定例会SNS講習会の様子

〈筑豊支部〉



広報通信員
木 室 剛

〈令和6年度役員名〉

支 部 長 橋本 浩二
副支部長 磯辺 隆治
総務部長 磯辺 隆治
事業部長 北富 敬之
学術部長 角田 慈佑
広報部長 木室 剛
学術部員 磯辺 隆治

- 学術部員 石本 芳之
学術部員 松尾 幸治
- 令和6年4月12日(金)
第1回役員会(橋本整骨院)
 - 令和6年5月18日(土)
第1回定例会(二瀬交流センター)
 - 令和7年1月18日(土)
第2回役員会(かばた高)
 - 令和7年2月7日(土)
第3回役員会(橋本整骨院)
 - 令和7年3月29日(土)予定
第2回定例会(パドウドウルコトブキ)



第1回定例会の様子



第3回役員会の様子

- 【学術部会】
- 発表者／世良 恵英
- テーマ「股関節児童伸展運動を併用した腰部筋押圧
手技が可動域改善に及ぼす効果について」
- 令和6年5月10日
第1回学術部会(すみだ整骨院)
 - 令和6年6月21日
第2回学術部会(オンライン)

- 令和6年8月9日
第3回学術部会(橋本整骨院)
 - 令和6年9月20日
第4回学術部会(オンライン)
 - 令和6年10月25日
第5回学術部会(オンライン)
- ★本年度の筑豊支部の活動では、役員会や学術部会を
従来通り対面での会議とオンライン会議を活用し効
率よく取り組むことができました。定例会や保険研
修会の出席率もよく支部会員の先生方におかれまし
ては、支部活動へのご協力ありがとうございました。

〈北九州西支部〉



広報通信員
安 島 洋 一

- 〈令和6年役員名〉
- 支 部 長 西本 健二
副支部長 小山 勝
学術部長 井上 敬仙
総務部長 中富かおり
経理部長 下元 信二
広報部長 安島 洋一
学術部員 江頭 輝彦
学術部員 徳永 和也
学術部員 中野 胎喚

- 令和6年7月19日(金)
第1回役員会(いのうえ整骨院)
- 令和6年7月27日(土)
第1回定例会 ※南・中央合支部同開催(貿易会館)
- 令和6年9月4日(水)
第2回役員会(いのうえ整骨院)
- 令和6年11月16日(土)
第2回定例会(中間ハーモニーホール)
- 令和6年11月29日(金)
第3回役員会(いのうえ整骨院)
- 令和7年1月11日(土)

- 第4回役員会(いのうえ整骨院)
- 令和7年1月25日(土)
北九州学会(リバーウオーク北九州芸術劇場)
- 発表者／徳永 和也

- 【学術部会】
- 令和6年度は計5回開催(いのうえ整骨院)
- ★以上が本年度の支部活動になります。おかげ様で本年
度も先生方のご協力により支部活動が無事に終了い
たしました。
- 定例会や学会では普段ではなかなか聞けない貴重な
情報収集の場になります。
- 先日の北九州学会でもご講演頂いた小倉第一病院
大森俊先生の内容は皮膚科の観点から運動選手を診
るというとても興味深いお話でした。
- 質疑応答では学生や先生方から多くの質問があり活
気のある大変有意義な時間となりました。
- また定例会では保険やカードリーダーなど直接仕事
に関わる事案をわかりやすく解説して頂けます。



北九州学会の様子

〈北九州南支部〉



広報通信員
舩 尾 勝 也

- 〈令和6年役員名〉
- 支 部 長 相良 呂策
副支部長 喜田 一由
総務部長 上田 卓史
学術部長 敷田 和彦
広報部長 舩尾 勝也
学術部員 大原 康宏
学術部員 久谷 隆幸
学術部員 中島 国成
- 令和6年4月5日(金)
第1回役員会(上田整骨院)
 - 令和6年7月19日(金)
第2回役員会(上田整骨院)
 - 令和6年7月27日(土)
第1回定例会 ※西・中央支部合同開催(貿易会館)
 - 令和6年9月20日(金)
第3回役員会(上田整骨院)
 - 令和6年10月26日(土)
第2回定例会(三原文化会館)
 - 令和6年11月12日(火)
第4回役員会(上田整骨院)
- ゆくはしシーサイドハーフマラソン事前協議会
- 令和7年1月11日(土)
第3回定例会(行橋中央公民館)
- 懇親会(蒸し処日本晴れ)
- 令和6年1月29日(日)
ゆくはしシーサイドハーフマラソン大会救護
(行橋市民体育館)

- 【学術部会】
- 令和6年度は5回の学術部会を行いました。
- 発表者／中川 貴博
- ★以上が本年度の支部活動報告です。

〈北九州中央支部〉



広報通信員
松原 節子

〈令和6年度役員名〉

支 部 長 岡野 博明
副支部長 後藤 政孝
総務部長 溝上竜一郎
経理部長 安東 靖眞
学術部長 竹田有輝治
広報部長 松原 節子
学術部員 和田 美和
学術部員 月森 昌多
学術部員 中島 良孝

- 令和6年7月25日(金)
第1回役員会(オンライン)
- 令和6年7月27日(日)
第1回定例会 ※西・南支部合同開催(貿易会館)
- 令和6年11月20日(木)
第2回役員会(オンライン)
- 令和6年12月25日(木)
第3回役員会(岡野整骨院)

【学術部会】

令和6年度は5回の学術部会を行いました。
発表者／後藤 政孝

〈久留米支部〉



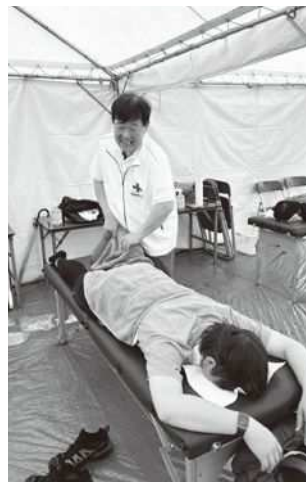
広報通信員
末次 和裕

〈令和6年度役員〉

支 部 長 古賀 健
副支部長 古賀 大万

総務部長 草野 成剛
学術部長 坂田 裕一
広報部長 末次 和裕
学術部員 高松 義之

- 令和6年4月9日(火)
第1回役員会(さかた整骨院)
- 令和6年4月20日(土)・21日(日)
久留米つつじマーチ救護ボランティア(中央公園)
- 令和6年6月22日(土)
第1回定例会(石橋文化センター)73名参加
- 令和6年5月23日(木)
第1回学術部会(さかた整骨院)
- 令和6月10月9日(水)
第2回学術部会(さかた整骨院)
- 令和6年10月24日(木)



久留米つつじマーチ救護ボランティアの様子



定例会の様子

第3回学術部会(さかた整骨院)

- 令和6年10月31日(木)
第4回学術部会(さかた整骨院)
- 令和6年11月7日(木)
第5回学術部会(さかた整骨院)

【学術部会】

令和6年度は5回学術部会を行いました。
(さかた整骨院)
テーマ「体幹前屈制限に対する負荷量別筋収縮後弛緩の検証」(柔道整復と歯科医療統合)
発表者／高松 義之
★以上が本年度の活動報告です。

〈大牟田・有明支部〉



広報通信員
櫻井 吏

〈令和6年度役員名〉

支 部 長 古賀 龍児
副支部長 加藤 和善
総務部長 庄島 太郎
学術部長 添島 信也
広報部長 櫻井 吏
学術部員 島田 靖也
学術部員 藤木 雅一
学術部員 岡本 寛史

- 令和6年4月20日(土)
第1回役員会(古賀整骨院)
- 令和6年7月19日(金)
第2回役員会(オンライン)
- 令和6年8月3日(土)
第1回支部定例会(大牟田文化会館)
- 令和6年9月8日(日)
大牟田みんなの健康展24(大牟田文化会館)
整骨院相談コーナー参加
- 令和6年12月26日(木)
第3回役員会(オンライン)



定例会SNS講習会の様子

【学術部会】

令和6年度は5回の学術部会を行いました。
(おか整骨院)
発表者／岡 伸一

★以上が本年度の活動報告です。
役員会を対面とオンラインでそれぞれの利点を活かして行いました。
保険研修会と定例会に出席された先生方ありがとうございました。

令和6年度

新入会員
紹介北九州中央支部
谷川 智之

入会年月日／R6.4.1

福岡医療専門学校 H26年卒

福岡西支部
中山 晃雄

入会年月日／R6.4.1

福岡医療専門学校 H27年卒

北九州中央支部
並木 秀一郎

入会年月日／R6.10.1

福岡医健専門学校 H19年卒

福岡西支部
大城 幸也

入会年月日／R6.12.6

福岡医健スポーツ専門学校 H31年卒

北九州中央支部
賀美 茂樹

入会年月日／R6.4.10

九州医療スポーツ専門学校 H31年卒

福岡南支部
馬 渕 みなみ

入会年月日／R6.10.1

九州医療専門学校 H31年卒

福岡南支部
石川 貴寿

入会年月日／R6.12.12

福岡医療専門学校 H16年卒

福岡東支部
三船 晃志郎

入会年月日／R6.4.1

北海道柔道整復専門学校 H6年卒

福岡南支部
中野 美保子

入会年月日／R6.6.6

福岡医療専門学校 H31年卒

福岡西支部
福田 悠馬

入会年月日／R6.10.1

福岡医療専門学校 H28年卒

筑豊支部
橋本 紘太郎

入会年月日／R7.1.1

福岡医健専門学校 H26年卒

福岡南支部
武内 友亮

入会年月日／R6.4.1

福岡医療専門学校 H28年卒

大牟田・有明支部
中村 謙太

入会年月日／R6.5.31

福岡医療専門学校 H30年卒

福岡西支部
樋口 隼斗

入会年月日／R6.10.9

福岡医療専門学校 H28年卒

北九州西支部
大庭 貴文

入会年月日／R7.1.1

九州医療スポーツ専門学校 H28年卒

福岡東支部
長野 貴昭

入会年月日／R6.4.1

福岡医健専門学校 H25年卒

福岡南支部
今野 亮太

入会年月日／R6.8.27

福岡医健専門学校 H26年卒

大牟田・有明支部
平木 大士

入会年月日／R6.11.19

九州医療専門学校 H26年卒

北九州西支部
立石 匠

入会年月日／R7.1.22

九州医療スポーツ専門学校 H31年卒

事務局より

事務局長 後 藤 祐 司

先生方におかれましては、平素より事務局業務にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2025年は、本当に早いもので21世紀が四半世紀を迎える節目の年になります。私も2000年入社なので、永く働かせて頂いていますが、年々時間の経過が早くなっているように感じております。

さて、昨年度を振り返りますと、明るい話題として、令和6年春の叙勲に於いて松岡前会長が栄えある旭日雙光章を受章されました。9月には受章祝賀会を挙行することが出来ましたが、私を始め事務局職員も永年松岡先生と一緒に仕事をしてきましたので、喜びもひとしおです。

また、我々の業界にとっても、マイナンバーカードオンライン資格確認や明細書発行の義務化、柔整広告ガイドライン案策定などの対応と、新しいスタートした制度への理解を深めることが課題となる一年

でした。

本年も事務局職員一同、常にアンテナを張って本会の現状を分析し、そこから浮かび上がる課題や問題点を執行部へ積極的に提案することで、解決への道筋を見いだしていきたいと考えています。また、先生方の様々なニーズに応えるため、有益な情報を適切なタイミングでお届け出来るよう努力して参ります。そして、先生方のどんなご意見でも真摯に耳を傾け、本会に在籍していて良かったと言って貰える事務局でありたいと思います。

これまで以上に事務局職員一同、先生方にとって必要不可欠な存在であり続けることを目標に、少しでも明るい話題が届けられるよう、様々な要望や相談などにも親身且つ柔軟な対応をさせて頂く所存です。

引き続き事務局に対し温かいご支援とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



事務局職員 左上から清原、岩佐、高橋、後藤、宮田

会 員 訃 報

吉 原 雅 英	会 員 (筑 豊 支 部)	享年 48才	令和6年10月10日没
別 府 靖 之	会 員 (久 留 米 支 部)	享年 62才	令和6年12月5日没
竹 内 俊 洋	会 員 (北 九 州 西 支 部)	享年 66才	令和7年2月3日没
益 永 啓 次	会 員 (福 岡 東 支 部)	享年 65才	令和7年3月2日没

心からご冥福をお祈りいたします。

投稿についてのお願い〈広報部〉

現在広報部では、春に福整広報、秋にJump Up Fukuseiを発行しております。各誌に掲載させて頂く原稿を募集しております。

【福整広報】

広報部より、原稿を依頼致します。其の折には御協力よろしくお願い申し上げます。

【Jump Up Fukusei】

- 身近なニュース、イベント等(写真を中心に簡単なコメントを添えてください)
- こんなボランティア、サークル活動をしています。(写真にコメントを添えてください)
- 言いたい放題コーナー(苦言、提言、希望、要望、独り言等。但し誹謗、中傷等はお断りします)
- QアンドAコーナー(匿名、ペンネーム可)
- 自由投稿(200字以内でお願いします)投書、投稿は県事務局広報部迄、随時受付しています。

※問い合わせは県事務局迄お願いします。

原稿提出の要項

- 1 / 原稿は、はじめにタイトル、続いて支部名、氏名を記入し本文をお書きください。
- 2 / 原稿の提出は、県事務局へEメールで、原稿を文書ファイルで添付してお送りください。
- 3 / 原稿送付の際に、写真、図、イラスト等ありましたら一緒にお送りください。顔写真も画像ファイルでメールに添付してください。
- 4 / 投稿に関する詳しいお問い合わせは、県事務局まで、お気軽にお尋ねください。
- 5 / 原稿は随時受けいたします。皆様からのたくさんの原稿をお待ちしております。

E-mail: judo@seikotsuin.or.jp

■表紙の写真に添えて

神在神社『神石』



表紙の写真は、糸島市神在の神在神社にある『神石』です。神在神社は572年が始まりと言われているそうですが、長い戦乱で荒廃した神社を1664年に当時の村人により再建されたそうです。この『神石』は神社の裏手の竹林の中にあります。

アニメ鬼滅の刃の中にそっくりな石が出てくこともあり、鬼滅ファンも訪れるそうです。私も撮影の為訪れましたが、竹林の中をしばらく歩くと目の前に大きな『神石』が現れます。

周りには大きな石などはなく、丸く大きな『神石』に圧倒されました。

又、竹林の上から太陽光が降り注いだ時などはとても神秘的でパワーを貰った様に感じました。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか？

福岡南支部 浦 誠二

編集後記

福整広報No.51が発行されるにあたり、お忙しい中原稿をお寄せくださいました先生方に心より感謝申し上げます。

今号はペーパーレスでの2度目の発行となりました。この福整広報はその年の公益社団法人福岡県柔道整復師会の行事や活動が掲載されております。

また、保険部より変更点や注意点などが丁寧に説明されていますので、是非お眼通し戴きたいと

思います。

原稿をお寄せ頂いた先生方にはそれぞれの整骨院の仕事や会務など多忙であるにもかかわらず投稿いただきました事感謝に堪えません。

最後になりましたが、先生方やご家族様のご健康とご多幸を祈念いたし、私の編集後記とさせて頂きます。



広報部長
浦 誠二